岡山校区

地 域 振 興 計 画

～住みやすいまち　次の１０年に向かって～

平成２７年３月

岡山校区まちづくり協議会

目次

１．はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１

１．計画策定の趣旨

２．岡山校区の概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ２

１．位置・地勢
２．人口等の動向

３．私たちがめざす将来の姿　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３

１．基本理念
２．基本目標

４．将来の姿の実現に向けて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ４～１１

１．安全・安心で暮らせる快適なまちづくり
２．老若男女ふれあいを大切に育むまちづくり
３．地域が元気で生き生きするまちづくり
４．自然を身近に感じ、環境にやさしいまちづくり
５．歴史と伝統を大切に、新しい文化のまちづくり

５．岡山校区地域振興計画実施計画　・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１２～１６

付属資料　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１７～３５

１．アンケート調査資料
２．岡山校区地域振興計画策定委員名簿

１．はじめに

１．計画策定の趣旨

私たちが住んでいる岡山校区は、自然環境に恵まれ昔から農業を中心とした地域で、人々も比較的平穏な生活を営んできました。時代が進む中で、岡山校区は交通の利便性が高いことから、企業誘致や大型商業施設等の進出などにより人口の増加も見られます。

しかし、活気が見られる反面、混住化や少子高齢化が進み災害や犯罪等への備えをはじめ、高齢者や子育て支援など個人や家族だけでは乗り越えられない問題も多く、また人とのつながりが希薄になって、地域の組織力、結集力も弱体化しています。このことは地域の行事や活動にも少なからず影響しはじめています。加えて行政サービスにも限界があり、住民の多様なニーズに十分応えることができない状況にあります。

こうした中、平成 25 年度から私たち岡山校区まちづくり協議会は、今も将来も住み良い岡山校区をめざすため、「地域振興計画」の策定委員会を立ち上げ計画づくりに着手いたしました。

この「地域振興計画」とは、まちづくり団体が区域の現状や課題を明らかにし、将来のあるべき姿や理想とする地域像を定め、その実現に向けた基本方針を示す長期的計画で、概ね１０年後の地域の将来像を目標として、実現するための手段や課題解決に向けた基本的施策を定め年次計画にまとめるものです。

策定にあたってはアンケート調査やワークショップなど、限られた中で岡山校区の現状と課題を明らかにし、住民が主体となった新しいまちづくりの施策と具体的取組みをまとめました。理想的な取組みと思われる内容や、見逃している内容、修正しなければならない取組みなどたくさんあるかと思いますが、地域社会が変わっていく中で、地域は様々な課題を抱え、その解決と活性化（再生）に向けた取組みが求められています。

これからのまちづくりの主役は、地域を毎日の生活の場としている私たち岡山校区住民です。

岡山校区まちづくり協議会
岡山校区地域振興計画策定委員会

～まちづくり団体とは～　　（現在八女市には 21 団体が組織されています。）

小学校の通学区域、又は歴史的文化的に深く結び付きがある地区の主要な地域活動団体が構成員となり、規約等を整備し共同体意識を持って、地域の活性化やまちづくり施策を推進していく住民組織で、校区まちづくり協議会や自治運営協議会、地域振興会議などがあります。岡山校区まちづくり協議会もまちづくり団体の一つです。

岡山校区まちづくり協議会の構成団体名　　*（順不同）*

団体名	団体名	団体名
１．行政区長会	５．交通安全協会	９．岡山公園を守る会
２．自治公民館長会	６．青少年健全育成会・防犯協会	10．人権を守る岡山の会
３．民生・児童委員会	７．子ども会育成会	11．岡山小学校ＰＴＡ
４．老人クラブ	８．消防団	12．西中学校ＰＴＡ（岡山校区）

2．岡山校区の概況

1．位置・地勢

岡山校区は、八女市の西部に位置し、西は筑後市、北は広川町に接しています。また地形は北部の広域にわたる台地と南部の平坦地で構成され、交通面では、地域西部を九州自動車道が縦断し八女ＩＣもあり、地域の中央部には東西に走る国道 442 号バイパスが完成し、八女市の大動脈として大いに活性化につながっています。また県道 96 号（旧国道 442 号）や旧矢部線道など広域交通の利便性が高い地域になっています。

こうした地理的条件に恵まれており、八女市の西の玄関口として地域内では住宅、商業、工業などの都市的土地利用から、田畑などの自然的土地利用まで様々な土地利用がみられます。また地域の中央には岡山公園があり、市民の憩いの場となっています。

2．人口等の動向

岡山校区の人口は、行政区間の差はあるものの、平成 15 年度をピークに減少傾向に転じている中、世帯数は増加傾向にあります。このことは、一世帯当たりの世帯構成員が減少し、核家族化が進行していることを示しています。

（１）岡山行政区毎の人口・世帯の推移　　（各年度の３月３１日現在）

行政区名	平成 10 年度		平成 15 年度		平成 20 年度		平成 25 年度	
	人口（人）	世帯（戸）	人口（人）	世帯（戸）	人口（人）	世帯（戸）	人口（人）	世帯（戸）
今　　福	466	113	458	109	402	111	374	111
蒲　　原	1,206	332	1,178	366	1,246	420	1,322	487
東 蒲 原	334	94	301	87	114	35	0	0
亀　　甲	217	49	185	43	163	40	162	46
亀 甲 北	179	60	196	64	206	73	213	86
龍 ケ 原	1,149	357	1,264	422	1,370	510	1,418	540
立　　野	294	73	294	78	278	80	263	83
前 古 賀	369	100	398	125	459	148	428	146
鵜　　池	828	217	765	226	738	235	769	304
室　　岡	1,443	417	1,549	482	1,653	549	1,758	633
室 岡 北	237	68	247	70	80	27	1	1
え の き 台	275	73	307	85	413	120	408	120
合　　計	6,997	1,953	7,142	2,157	7,122	2,348	7,116	2,557

※八女市人口等の推移　　（各年度の３月３１日現在）

	男（人）	女（人）	合計（人）	世帯数（戸）	備考
平成 10 年度	18,896	21,019	39,915	11,773	
平成 15 年度	18,604	20,695	39,299	12,308	
平成 20 年度	19,914	22,267	42,181	14,369	H18・10 上陽合併
平成 25 年度	31,769	35,759	67,528	24,213	H22・2 合併

3．私たちがめざす将来の姿

1. 基本理念

今も未来も心のふるさと
共に支え合う心を大切に、安心して住み続けたいまちづくり

私たちは、自然の恵みと人々のやさしさ、思いやりを大切にするとともに、みんなが生き生きと輝き、支え合うことで安心して暮らせるふるさとづくりをめざします。

また、岡山校区に生まれ育った人や新しい居住者が誇れるふるさととなるように、みんなの心をひとつにして、岡山校区の将来を描き、住み続けたいまちづくりを進めていきます。

2．基本目標

1．安全・安心で暮らせる快適なまちづくり

2．老若男女ふれあいを大切に育むまちづくり

3．地域が元気で生き生きするまちづくり

4．自然を身近に感じ、環境にやさしいまちづくり

5．歴史と伝統を大切に、新しい文化のまちづくり

4．将来の姿の実現に向けて

岡山校区の将来のあるべき姿を実現させるために、５つの基本目標を定め、それぞれに方針と主要施策を掲げ、地域住民が創意工夫しながら取組んでいきます。

主要施策に対する具体的な取組みについては、実施主体及び実施時期等を示し、実施計画としてまとめています。

基本目標 ***1．安全・安心で暮らせる快適なまちづくり***

方針

地域のつながりを基本にして、人々が安全・安心で快適に生活できるまちづくりをめざします。

主要施策

（１） 防犯、防災、交通安全対策の充実
（２） 生活環境の保全充実

現状と課題

（１）防犯、防災、交通安全

≪防犯≫

◆ 夜道を通る際、危険を感じる道路が多いとの事で、防犯灯や道路照明灯の設置が要望されています。

◆ 防犯、防災面については、少子高齢化が進み、高齢者にとってもその家族にとっても不安が大きくなっています。加えてアパート等が増え地域住民の交流が薄れていく中で、一段と防犯、防災対策が求められています。

◆ お宮、公民館、商業施設等が青少年の溜まり場と指摘されています。犯罪や事故から青少年や子供たちを守るため、安全な遊び場の確保や見守りが求められています。

◆ 防犯活動として、防犯パトロール隊を組織している行政区もありますが、今後は全行政区に広める必要があります。また、防犯講習会を開催していますが、振込詐欺等の犯罪や不審者への対応など、情報提供や指導の強化が必要となってきています。

≪防災≫

◆ 全行政区に自主防災組織が組織され関心の高さを示していますが、防災訓練をはじめ災害時の対応や災害時の要援護者支援など、今後さらに自主防災活動や運営についての取組みが求められています。

◆ 豪雨災害時の河川（山の井川）、水路の氾濫や排水に対する不安が聞かれ、整備（改修）工事など防災対策の要望が高まっています。

≪交通安全≫

◆ 通学時間帯に速いスピードで通過する車両の危険性が指摘されています。

◆　道路の道幅が狭く見通しの悪い道路や歩道がない道路が多く、また歩道があっても勾配が急であったり段差があるため、通学時の子供や高齢者等の安全確保と歩きやすい道づくりが求められています。

◆　交通安全協会の街頭指導や街頭キャンペーンなどによって、地域の交通安全は支えられていますが、さらなる交通安全啓発活動も必要となっています。

（２）生活環境

◆　地域住民だれもが望むことは「住み続けたい」に示される生活環境であり、快適性と安全性が確保された暮らしです。ところが、住み良い生活環境の整備には広範な事業（ハード事業が主）が必要で、その多くは行政の力を借りなければ進まないものばかりです。

　しかし、地域住民自身が果たす役割もあり快適なより良い住環境づくりのため、地域で出来る事を進んで取組んでいく事が求められています。

◆　岡山校区管内には、県道９６号（旧国道４４２号）、国道４４２号バイパス、旧矢部線道の大きな道路が東西に走り、また高速道路の八女ＩＣがあります。一方、公共交通機関として堀川バスが運行され、ＪＲと新幹線の駅は隣接の筑後市にあります。こうしたことから比較的交通のアクセスは良い地域となっています。また大型商業施設も近くにあり、買い物など利便性の高いエリアでもあります。しかし、他方では道路の整備や修復、上下水道事業の整備要望をはじめ、買い物等についても不便を訴える地域もあるなど、同じ岡山校区管内でも地域差があります。

具体的な取組み

（１）防犯、防災、交通安全対策の充実

≪防犯≫

①　街路灯、防犯灯の必要箇所及び修繕箇所の調査と設置を行います。（ＬＥＤ照明化）

②　防犯カメラの設置について検討し、必要により設置します。

③　防犯パトロール隊を全行政区に組織し、既に活動している団体等と連携強化を図りながら高齢者の見守りから、青少年の見守りなど監視体制を強化します。

④　防犯講習会を通して、振込詐欺、空き巣、車上荒らし、変質者等への被害防止のための啓発と住民意識の向上に努めます。

≪防災≫

①　全行政区に自主防災体制が組織されているため、さらに質向上を図るための災害図上訓練や避難場所等への誘導訓練など、避難者支援体制を整備し地域の防災力を高めます。

②　市作成のハザードマップと照合し、路肩・河川の崩壊、地滑り、道路の冠水など、豪雨等がもたらす自然災害による危険箇所の調査を行い対応策を市へ要望します。

≪交通安全≫

①　交通安全協会や青少年健全育成会・防犯協会、ＰＴＡ等と連携した自主的な交通安全活動の取組みとして、交通安全パトロール隊（ボランティア）による登下校時の見守りを行います。

②　交通安全の意識の高揚、マナー向上のための交通安全教室を開催します。

③　通学路等の交通危険箇所について調査・協議し、必要に応じて歩道やカーブミラー、ガードレール設置、グリーンベルト設置、速度抑制対応など、地域の意向を関係機関へ要望していきます。

（２）生活環境の保全充実

①　安全・安心で快適な生活環境を確保するため、住環境ネットワークの整備を図り、広範な地域住民の多様な情報の集約と相談窓口ができる体制をつくり、事案解決のため関係機関等へ要望します。

②　住民生活に直結する生活道路において、緊急車両の進入が困難な狭い道路や、防災上とくに必要な道路などの調査点検し、拡幅・改良等の整備について関係機関に要望していきます。

基本目標　***２．老若男女ふれあいを大切に育むまちづくり***

方針

人と人のふれあいを大切に、支え合うまちづくりをめざします。

主要施策

（１）福祉・健康対策の充実と推進

（２）子育て・教育対策の支援と充実

（３）地域コミュニティの推進

現状と課題

（１）福祉・健康

◆　高齢者の一人暮らしや夫婦二人暮しが多くなり、買い物、通院への不便さを訴えてあり、さらに高齢者の不安は健康問題、経済的問題、人間関係など難しい問題を抱えています。こうした状況の中で、安心して暮らせるための支援具体策が地域で求められています。

◆　元気な高齢者と支援が必要な高齢者それぞれに対する地域での居場所の確保、充実が求められています。

◆　アンケート調査からも健康づくりには高い関心がうかがえます。住民一人ひとりが自らの健康に対する自覚と意欲を持ち、乳幼児から高齢者まで生涯にわたり効果的な健康づくりが求められています。

（２）子育て・教育

◆　子供の成長にとって外で遊ぶことは大事なことであるにも関わらず、子供たちが安心して伸び伸びと遊べる公園等がないとの意見が多世代にわたって聞かれます。今後、行政支援の一層の充実を要望しながら、子供たちが地域に親しみを感じ健やかに成長していけるよう、地域交流や親子どうしの交流を図り、遊び場、公園などの居場所づくりの確保など、子育てしやすく、子供が明るく育つ環境整備が求められています。

◆　人と人のつながりが希薄になっている中、子供たちは大きな声で挨拶ができるとの声が多く聞かれます。また、高齢者とグラウンドゴルフを一緒に楽しんだり、町内行事にも子供たちが参加するなど、

地域との交流も行われている所もあります。しかし、なお一層、地域の中で子供を大切に育てたいという共通の願いを込め、地域全体で子供を守り育てる取組みが求められています。

（３）地域コミュニティ

◆　地域社会の変化は、少子高齢化をはじめ、核家族化、都市化、生活圏の拡大、社会構造の変化、生活様式の変貌、人口減少などにより、価値観やライフスタイルも多様化し、人と人とのつながりが希薄化してきています。同時に相互扶助の精神も減少傾向にあります。

　こうした背景の中で、アンケート調査の意見として、人の力（技術）を活用した助け合い組織（ボランティア）の立ち上げや、多世代交流の場を積極的に進め、差別や偏見のない社会の構築を提案されています。今後、抱える課題を共有しながら地域コミュニティへの再構築の必要性が求められています。

◆　アパート等が増える中で、地域行事が負担になっている人、隣組を脱退したいと言う人、地域行事に協力的でない人、ルールを守らない人がいる一方、今以上に祭りやスポーツ大会、文化祭を充実してほしいと言う人がいるなど、地域住民の多様化により、地域住民同士のコミュニケーションが希薄になり、新たな地域問題や課題が発生しその解決が難しくなってきています。ただし、行政区及び隣組単位の地域行事で親睦を深めている所もあり、今後アパート住民を含め、地域の実情にあった連携・協力の関係を全域に広める必要があります。

具体的な取組み

（１）福祉・健康対策の充実と推進

①　高齢者や独居老人等の支援は、一番身近な隣り近所同士の支え合い、助け合いが最も大切です。昔から助け合ってきた「向こう三軒両隣り」の推進を進めていきます。そして、この運動が発展しながら広域で取り組む、例えばゴミ出し・電球交換など生活上の支援が必要な場合、「広域お助け倶楽部（仮称）」のようなボランティア組織を立ち上げ、支援活動を行います。

②　民生・児童委員との連携により、「目配り、気配り、心配り」のできる声かけ運動（安否確認含む）を進めます。また、独居老人等の緊急連絡体制を整備します。

③　生き生きサロンについては、きっかけがなく、声をかけてほしい人もいると思います。無理強いではなく、個人を尊重しつつ、参加しやすいサロン環境と充実に取組みます。

④　八女市予約型乗合タクシー（以下「ふる里タクシー」と言います。）の積極的利用推進と利便性向上について取組みます。

⑤　元気な高齢者を活かせる活動を地域で広げていくためにも、野菜づくり等に取組める環境を整備します。

⑥　健康づくりの推進として、国民健康保険加入者を対象にした特定健康診査の受診率を上げる取組みに努めます。

⑦　住民一人ひとりが自らの健康に対する自覚と予防につなげるため、「岡山校区福祉のつどい」の充実を図ると共に、小地域毎の自主的組織「健康ラジオ体操会（仮称）」の立ち上げと、健康増進目的のためのスポーツ大会なども開催します。

（２）子育て・教育対策の支援と充実

① 地域の中で子供を大切に育てたいという共通の気持ちが強くある中、子供たちの居場所として既施設の公園や運動場、野球場、公民館等をうまく活用しながら子供たちが生き生きと過ごせる、レクレーションやスポーツ大会、独自のアンビシャス運動を展開できる仕組みをつくり支援します。

② ＰＴＡ、子ども会育成会、青少年健全育成会・防犯協会、老人クラブ等の連携のもと、校区あげての「あいさつ運動」の取組みを実施し、支援していきます。

③ 子供たちと高齢者との交流を広げ、高齢者の得意な分野を活かした「高齢者伝授教室（仮称）」を開き、子供たちと一緒になって学び体験する活動を支援していきます。

④ 子育て中の若い世代と、既に子育てが終わった経験世代との交流会を開催し、子供たちを地域全体で守り育てる仕組みを作っていきます。

（３）地域コミュニティの推進

① 相互扶助の気持ちや人間関係の希薄化によって「地域力」が弱まっています。そこで、地域コミュニティの充実を図るため、さまざまな地域行事を実施し、お互いの顔が見える地域社会を構築します。ただし、地域住民の中には地域行事等になじめない人たちもいますので、慎重に協議しながら進めていきます。

② 地域内の各種団体の活動を活発化させていきます。

③ 岡山校区全体で取り組んでいる「岡山校区ふれあいまつり」をはじめ、岡山校区地域住民同士のふれあい・出会いを充実させていきます。

基本目標 ***３．地域が元気で生き生きするまちづくり***

方針

人と人が行き交い、人と地域が交流し、元気な地域が芽生えるまちづくりをめざします。

主要施策

（１）産業づくりの推進

（２）観光・交流の促進

現状と課題

（１）産業

◆ 岡山校区は高速道路八女ＩＣがあり、八女市の西の玄関口として、また大型商業施設や企業誘致もいくらか進むなど、魅力をもった地域であり、今後このような立地を生かした開発が課題と考えられます。

◆ 産業として中心だった農業は、高齢化や農業後継者の減少、耕作放棄地などこれまで以上に厳しくなってきています。解決策は非常に難しく、大規模経営生産組織である農業生産法人等の立ち上げが必要だと思われます。一方、元気な高齢者や女性等が活躍できる取組みも必要と思われます。

（２）観光・交流

◆　岡山校区には、地域のシンボルでもある岡山公園があり、「龍頭山・岡山さん」として広く親しまれています。一方、岡山校区には高速道路の八女ＩＣや国道 442 号バイパスなど主要道路が連絡し、立地的な面を考えるともっと力を入れたらとの声もあります。

観光・交流については、少ない地域資源を活かし個性化を図り、校区外からの訪問客などを増やすことにより、地域の活性化を図ることが必要ですが、岡山校区の地域資源だけでは訪れる人が限られることから、周辺地域との連携や環境づくり、広報活動を進めるとともに、人・モノ・情報の交流を促進するなど観光要素につなげることが求められています。

具体的な取組み

（１）産業づくりの推進

①　岡山校区の立地面を考えると、魅力ある企業誘致は地域経済の活性化に期待できると思います。地域が元気になるよう、生きがいと夢のもてる産業を創造する地域づくりをめざします。

②　岡山校区には、恵まれた自然の中に数多くの特産品があります。特産品の掘り起こしや開発と製造など、特産品・産業を活かした地域づくりをめざします。

③　農業後継者が不足し、農業従事者の高齢化が深刻な問題になっている中で、法人組織化など夢のもてる農業を創造する地域づくりの支援をしていきます。

④　地産地消の推進と、元気高齢者や女性の得意分野を活かした産業づくりとして、農産物の直売所を開設します。

（２）観光・交流の促進

①　１年間を通して地域外からの誘客をはかる観光資源は少ないが、地域にある一番の資源である自然や歴史、様々な人がもっている知識や技能、継承されてきた行事などを資源として活用し、地域外住民との交流促進、観光振興の活動を応援していきます。また、山の井川をキーワードに、新たな観光資源につながる開発を研究していきます。

②　岡山公園を守る会が主体となって開催している「岡山公園事業（イベント）」や観光資源となる四季折々の花・木の植栽を整備して、地域内外の人を呼び込む活動を応援します。

③　周辺地域との連携や環境づくりと、人・モノ・情報の交流を促進し、観光要素につながる取組みを検討していきます。

基本目標 ***4．自然を身近に感じ、環境にやさしいまちづくり***

方針

郷土の大切な自然を守り、環境にやさしいまちづくりをめざします。

主要施策

（１）自然環境の保全

現状と課題

（１）自然環境

◆　岡山校区は公害や自然災害が少なく、自然環境に恵まれているとの多くの声がある中、貴重な自然資源として「岡山公園」があり、その環境整備には長年地域住民組織でしっかりと管理されています。

一般的に公園・緑地は、憩いの場、コミュニティ活動やレクレーション活動の場、子供たちの遊び場として重要な役割を果たしていますが、岡山公園がそうした身近な公園として、活用できるよう一層の整備が求められています。

◆　河川環境の変化により、川に魚などの生き物が少なくなっています。自然を破壊しない護岸整備と浚せつ工事が求められています。

◆　地域の清掃は定期的に実施されており、ゴミ処理のルールを守っている人も多い反面、ゴミ出しのルールを守らない人や、自分で燃やしている人、また不法投棄や犬のフンの放置など、モラルの欠如が心配されます。住民一人ひとりの環境に対する意識向上への取組みが必要となっています。

◆　悪臭に対する苦情的意見が多く、大きな問題を抱えています。悪臭は地域住民の生活環境にも影響しますが、その解決は困難が予想され難しい問題となっています。

具体的な取組み

（１）自然環境の保全

①　貴重な自然資源として岡山公園があり、景観を維持・保全するために、適切な手入れが必要となっています。岡山公園を守る会が取組んでいる公園清掃作業等に積極的に支援していきます。

②　たくさんの魚が住める川に戻すため、護岸整備と浚せつ工事を関係機関へ要請し、自然と調和した河川愛護に取組みます。

③　ゴミ出しや、不法投棄、犬のフンの放置などモラル欠如に対する啓発活動に取組みます。

④　悪臭に対する解決策は大変難しい現状でありますが、関係公的機関へ相談し、悪臭問題解決へ向けた適切な対応を要望します。

基本目標 ***5．歴史と伝統を大切に、新しい文化のまちづくり***

方針

地域に根ざした歴史と伝統を大切に、新しい文化の創造により心のふるさととしてのまちづくりをめざします。

主要施策

（１）歴史・文化の保存と継承

現状と課題

（１）歴史・文化

◆　景観のシンボルともなっている岡山公園は、地域住民から親しまれる一方、歴史や文化を伝える場としても役割を担っています。こうした岡山校区にまつわる歴史や文化について、身近に感じるよう文化財や史跡等の掘り起こし調査と整理について、行政の支援を受けながら取組む必要があります。

◆　慣例化、固定化した地域の伝統行事に対する意識が変わり、特に若者が興味を示さなくなってきています。また、お世話をすることを嫌がる人も増え、行事の見直しを迫られている事例もあります。逆に積極的な人もいて、歴史文化を大事にしたい人や新しい文化を立ち上げようとする人もいます。

このように共同意識や地域のつながりが薄れていく中にあっても、季節毎に各地区で行われる祭りや伝統行事等は、郷愁を誘う魅力を持った心のふるさとの行事です。今後、祭りや伝統行事等のあり方を見直し、進化させながら歴史・文化を未来へ継承していく必要があります。

具体的な取組み

（１）歴史・文化の保存と継承

①　地域住民から親しまれている岡山公園をはじめ岡山校区にまつわる歴史や文化の掘り起こし調査と研究整理について、行政の支援を受けながら取組みます。

②　地域内の伝統行事やイベントを通じて、人と人とのつながりを保つためにも、伝統文化・行事を継承し、ふるさとに誇りを持つ意識づくりに取組むと共に、地域住民の意識が変わったことにより、後世に残したい伝統文化・行事を検証し、その方法を検討します。

③　歴史や文化を守り、時代にあった新しい文化の創造と住民相互の交流を深める世代間の結束強化に取組みます。

5．岡山校区地域振興計画実施計画

基本目標　　1．安全・安心で暮らせる快適なまちづくり

方　針　地域のつながりを基本にして、人々が安全・安心で快適に生活できるまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体			実施時期		
			住民	協働	行政	短期	中期	長期
防犯対策の充実	①街路灯、防犯灯の整備	(ア) 点検及び必要箇所調査の実施	○			○		
		(イ) 必要箇所への設置		○		○		
		(ウ) ＬＥＤ照明化		○		○		
	②防犯カメラの設置	(ア) 地域の安全安心を念頭に協議（必要箇所の検討）	○				○	
		(イ) 行政等への提案、要望、設置		○			○	
	③防犯パトロール隊の組織化	(ア) 全行政区設置	○			○		
	④防犯講習会の開催	(ア) 振込詐欺、不審者対応など		○		○		
防災対策の充実	①自主防災組織の強化	(ア) 初期消火活動訓練の実施		○		○		
		(イ) 災害図上訓練の実施		○		○		
		(ウ) 避難誘導訓練の実施		○		○		
	②自然災害がもたらす危険箇所の調査と対応	(ア) 地域での危険箇所の点検調査	○				○	
		(イ) 市作成のハザードマップとの照合点検		○			○	
		(ウ) 緊急危険箇所への要望と対応		○			○	
交通安全対策の充実	①交通安全パトロール隊の組織化（ボランティア）	(ア) 地域独自の交通安全パトロール隊の設置	○			○		
	②交通安全教室の開催	(ア) 意識の高揚、マナー向上の教室		○		○		
		(イ) 高齢者対象の交通安全教室		○		○		
	③通学路危険箇所の整備	(ア) 点検及び危険箇所調査	○			○		
		(イ) 歩道、カーブミラー、ガードレール、グリーンベルトなどの設置要望と対応		○		○		
		(ウ) 速度抑制等の措置要望と対応		○		○		

施策	具体的取組み		実施主体			実施時期		
			住民	協働	行政	短期	中期	長期
生活環境の保全充実	①住環境ネットワークの整備	(ア) 住環境相談の受付（地域情報収集と対応策協議）	○			○		
		(イ) 情報及び相談内容によって関係機関へ要望と対応		○		○		
	②緊急時及び防災上の安全道路の整備	(ア) 生活道路における緊急車両の進入及び防災上に必要な点検調査	○			○		
		(イ) 拡幅、改良等の整備について関係機関へ要望と対応		○			○	

基本目標　　2．老若男女ふれあいを大切に育むまちづくり

方　針　人と人のふれあいを大切に、支え合うまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体			実施時期		
			住民	協働	行政	短期	中期	長期
福祉・健康対策の充実と推進	①高齢者・独居老人等への支援組織化（ボランティア）	(ア) 向う三軒両隣りの推進（隣近所の支え合い・助け合い）	○			○		
		(イ) 広域お助け倶楽部（仮称）の設置（ゴミ出し、買い物、電球交換ほか）	○				○	
	②緊急連絡体制の整備	(ア) 声かけ運動（安否確認）	○			○		
	③生き生きサロンの充実	(ア) 参加しやすいサロン環境づくり	○			○		
	④ふる里タクシーの利用推進	(ア) ふる里タクシーの仕組みと登録推進		○		○		
		(イ) 利便性向上への要望と対応		○		○		
	⑤元気高齢者活動支援	(ア) 貸農園と野菜づくり等の支援		○			○	
	⑥特定健康診査の受診向上対策	(ア) 現状と意識高揚のためのアンケート実施	○			○		
		(イ) 受診呼びかけ運動	○			○		
	⑦地域住民の健康維持と環境づくりの整備	(ア) 岡山校区福祉のつどいの充実		○		○		
		(イ) 健康ラジオ体操会（仮称）の創設（地域住民の自主的組織）	○				○	
		(ウ) 健康増進スポーツ大会の開催（ミニソフトボール大会）	○			○		

施策	具体的取組み		実施主体			実施時期		
			住民	協働	行政	短期	中期	長期
子育て・教育対策の支援と充実	①地域で育てる子供の居場所づくり	(ア) 住民交流スポーツ大会の開催（ウォーキング大会、少年少女ドッヂビー大会、ハイキング他）	○			○		
	②地域住民の交流を深め、安心感を与える活動	(ア) あいさつ運動の推進	○			○		
	③子供と高齢者の交流促進	(ア) 高齢者伝授教室（仮称）の開催（高齢者の得意な分野を学び、体験する。しめ縄づくり、郷土料理ほか）		○			○	
	④子育て世代への支援充実	(ア) 子育て世代と子育て経験者との交流開催		○			○	
地域コミュニティの推進	①地域社会の再構築の推進（顔の見える地域づくり）	(ア) 地域行事の見直しと継承（不参加者、無関心者の交流対策）	○				○	
	②各種団体の活動強化支援（連携・協力）	(ア) まちづくり協議会構成の各団体の自主的、主体的活動の支援	○			○		
	③校区ふれあい事業の充実	(ア) 岡山校区ふれあいまつりの充実	○			○		
		(イ) その他校区民ふれあい活動	○				○	

基本目標　　3．地域が元気で生き生きするまちづくり

方　針　人と人が行き交い、人と地域が交流し、元気な地域が芽生えるまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体			実施時期		
			住民	協働	行政	短期	中期	長期
産業づくりの推進	①企業誘致の促進	(ア) 新たな企業誘致			○			○
		(イ) 企業誘致への協力支援	○					○
	②岡山ブランドの開発、製造支援	(ア) 地場産業創出のための学習会開催		○			○	
		(イ) 特産品の掘り起こし		○			○	
	③農地保全対策と法人化対策	(ア) 地域とつながった農業生産法人への支援協力		○			○	
	④地産地消の推進（高齢者、女性への活力づくり）	(ア) 農産物等の直売所の開設	○				○	

施策	具体的取組み		実施主体			実施時期		
			住民	協働	行政	短期	中期	長期
観光・交流の促進	①資源の掘り起こしと活用	(ア) 地域資源の発掘と調査	○				○	
		(イ) 新たな観光商品や特産品、加工品の開発支援		○			○	
		(ウ) 観光振興、交流促進への支援		○			○	
		(エ) 観光船川下り（山の井川）への取り組み研究		○				○
		(オ) 山の井川沿道の桜の木植栽の研究		○			○	
	②岡山公園事業の充実強化（岡山公園を守る会）	(ア) 岡山公園清掃作業	○			○		
		(イ) 四季折々の花・木植栽	○			○		
		(ウ) 岡山公園の祝日国旗掲揚	○			○		
		(エ) 紅櫨まつり	○			○		
		(オ) イルミネーション設置	○			○		
		(カ) 新春祈願日の出遥拝式	○			○		
		(キ) 桜と提灯まつり	○			○		
	③人・モノ・情報の交流促進	(ア) 視察研修の実施		○			○	
		(イ) 周辺地域との情報交換と連携		○			○	

基本目標　　4．自然を身近に感じ、環境にやさしいまちづくり

方　針　郷土の大切な自然を守り、環境にやさしいまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体			実施時期		
			住民	協働	行政	短期	中期	長期
自然環境の保全	①岡山公園の清掃作業充実	(ア) 公園清掃作業の積極的支援	○			○		
	②河川の整備	(ア) 護岸整備と浚せつ工事			○			○
		(イ) 護岸整備と浚せつ工事への住民協力体制の整備	○					○
	③モラル改善事業の啓発	(ア) 犬のフン、不法投棄対策とし看板の設置		○		○		
		(イ) ゴミ出しルールの徹底と周知		○		○		
		(ウ) 環境美化活動への取組み	○			○		
	④悪臭対策	(ア) 関係公的機関への相談（解決策）			○	○		

基本目標　　５．歴史と伝統を大切に、新しい文化のまちづくり

方　針　地域に根ざした歴史と伝統を大切に、新しい文化の創造により、心のふるさととしてのまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体			実施時期		
			住民	協働	行政	短期	中期	長期
歴史・文化の保存と継承	①岡山校区の歴史と文化の振興	(ア) 岡山校区にまつわる歴史や文化の掘り起し調査研究		○			○	
		(イ) 名所・旧跡の案内版設置		○			○	
		(ウ) ボランティアガイド員の育成		○			○	
	②伝統行事（イベント）の継承	(ア) 行事の歴史的要素（継続的意義）の確認と周知	○				○	
		(イ) 無理強いにならない、誰もが参加できる行事の見直しの検討	○				○	
		(ウ) ふるさとに誇りが持てる伝統行行事、文化を次世代へ引き継ぐ活動	○				○	
	③時代にあった文化活動の推進	(ア) 地域行事を通し、世代間の結束強化	○			○		
		(イ) 若い世代が考えた新しい文化・行事の取組み	○			○		

『用語解説』

≪実施主体≫

「住民」に○は、地域住民が主体的に取り組む事業・活動
「協働」に○は、住民と行政等が取組む事業・活動
「行政」に○は、行政が主体的に取り組む事業・活動

≪実施時期≫

「短期」は、すぐに取組む（概ね３年以内に）
「中期」は、近い将来取組む（概ね４年～６年以内に）
「長期」は、じっくり時間かけて取組む（概ね７年～１０年以内）

この計画書は、概ね１０年後の将来像を創造し、その実現に向け様々な取組みを行っていきますが、計画はより良いまちづくりをめざすため、随時見直しを行っていきます。

付 属 資 料

◆アンケート集計表

◆アンケート意見・提案集

◆岡山校区地域振興計画策定委員名簿

岡山校区地域振興計画アンケート集計表

平成２６年５月実施

１．配布、回収概要

①配布及び回収方法

アンケートの配布は、各行政区ごとに配布数を割り当て、行政区長（隣組長）を通じて配布回収しました。

②配布数・回収数

≪岡山全地区≫

配布数	回収数	回収率
８３０	７９４	９５．７%

≪行政区別≫

行政区名	配布数	回収数	回収率	行政区名	配布数	歌集数	回収率
今福	６０	５５	91.7%	前古賀	６０	５３	88.3%
蒲原	１４０	１３９	99.3%	鵜池	１１０	１０６	96.4%
亀甲	２０	２０	100.0%	室岡	１４０	１２６	90.0%
亀甲北	４０	３９	97.5%	えのき台	６０	５９	98.3%
龍ケ原	１６０	１６０	100.0%				
立野	４０	３７	92.5%	合計	８３０	７９４	95.7%

≪行政区年齢別≫

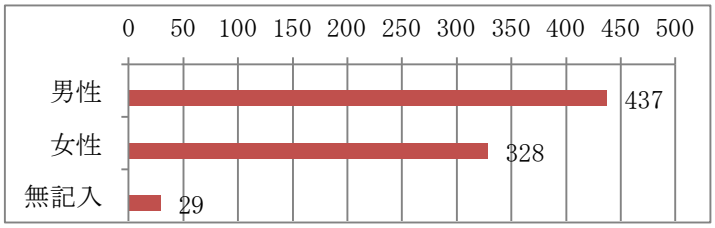
行政区名	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	年齢不明	合計
今福		２	５	１１	１４	１７	６		５５
蒲原		２	６	１６	３７	５０	２７	１	１３９
亀甲	１		１	１	４	８	４	１	２０
亀甲北		１	４	５	１０	１０	８	１	３９
龍ケ原	２	６	１７	２０	３５	４９	３０	１	１６０
立野		３	４	６	８	１０	６		３７
前古賀		１	４	１５	７	１３	１２	１	５３
鵜池			４	９	２５	４４	２４		１０６
室岡		１	１２	１８	２６	４２	２７		１２６
えのき台			４	１３	２０	１２	１０		５９
合計	３	１６	６１	１１４	１８６	２５５	１５４	５	７９４

2. 集計

問　1　あなたご自身についてお尋ねします。

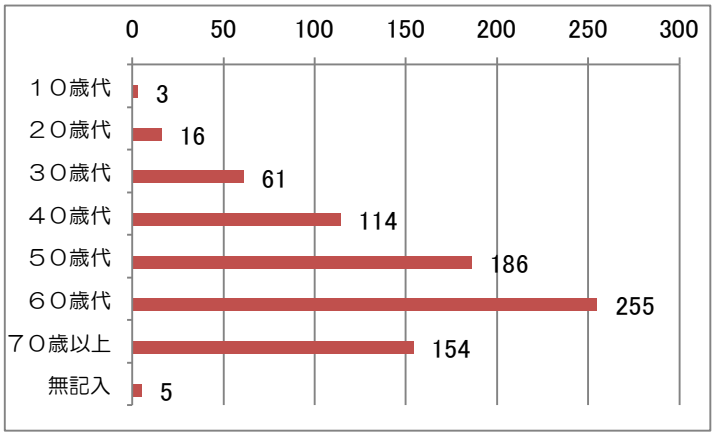
≪性別≫

項目	回答数	割合
男性	437	55.0%
女性	328	41.3%
無記入	29	3.7%
合計	794	100.0%



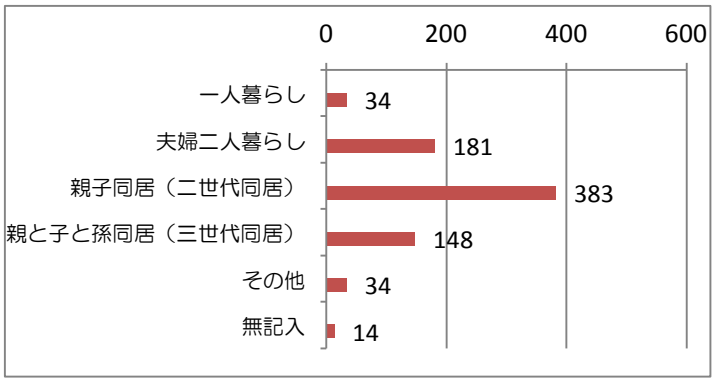
≪年齢≫

項目	回答数	割合
１０歳代	3	0.4%
２０歳代	16	2.0%
３０歳代	61	7.7%
４０歳代	114	14.4%
５０歳代	186	23.4%
６０歳代	255	32.1%
７０歳以上	154	19.4%
無記入	5	0.6%
合計	794	100.0%



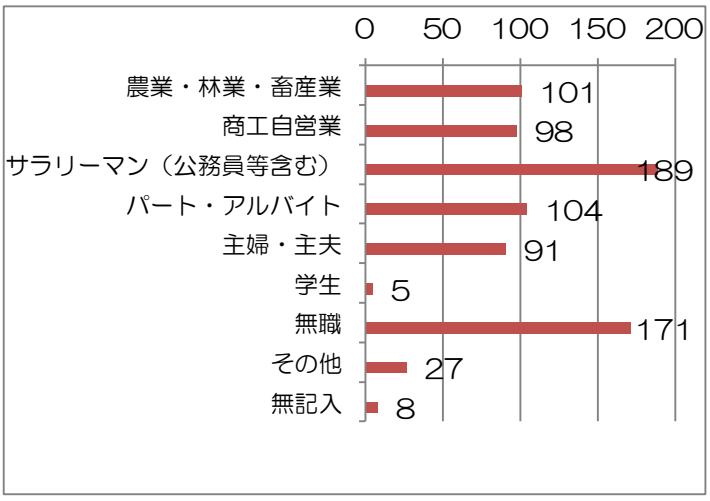
≪世帯構成≫

項目	回答数	割合
一人暮らし	34	4.3%
夫婦二人暮らし	181	22.8%
親子同居（二世代同居）	383	48.2%
親と子と孫同居（三世代同居）	148	18.6%
その他	34	4.3%
無記入	14	1.8%
合計	794	100.0%



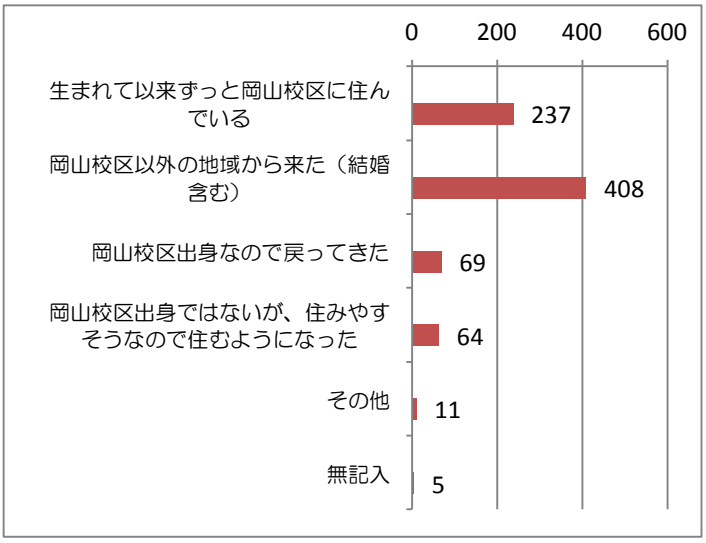
≪職業≫

項目	回答数	割合
農業・林業・畜産業	101	12.7%
商工自営業	98	12.3%
サラリーマン（公務員等含む）	189	23.8%
パート・アルバイト	104	13.1%
主婦・主夫	91	11.5%
学生	5	0.6%
無職	171	21.5%
その他	27	3.4%
無記入	8	1.0%
合計	794	100.0%



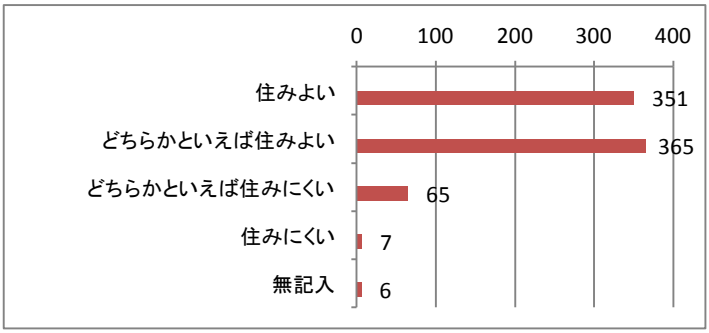
問 2　住まいの状況についてお尋ねします。

項目	回答数	割合
生まれて以来ずっと岡山校区に住んでいる	237	29.8%
岡山校区以外の地域から来た（結婚含む）	408	51.4%
岡山校区出身なので戻ってきた	69	8.7%
岡山校区出身ではないが、住みやすそうなので住むようになった	64	8.1%
その他	11	1.4%
無記入	5	0.6%
合計	794	100.0%



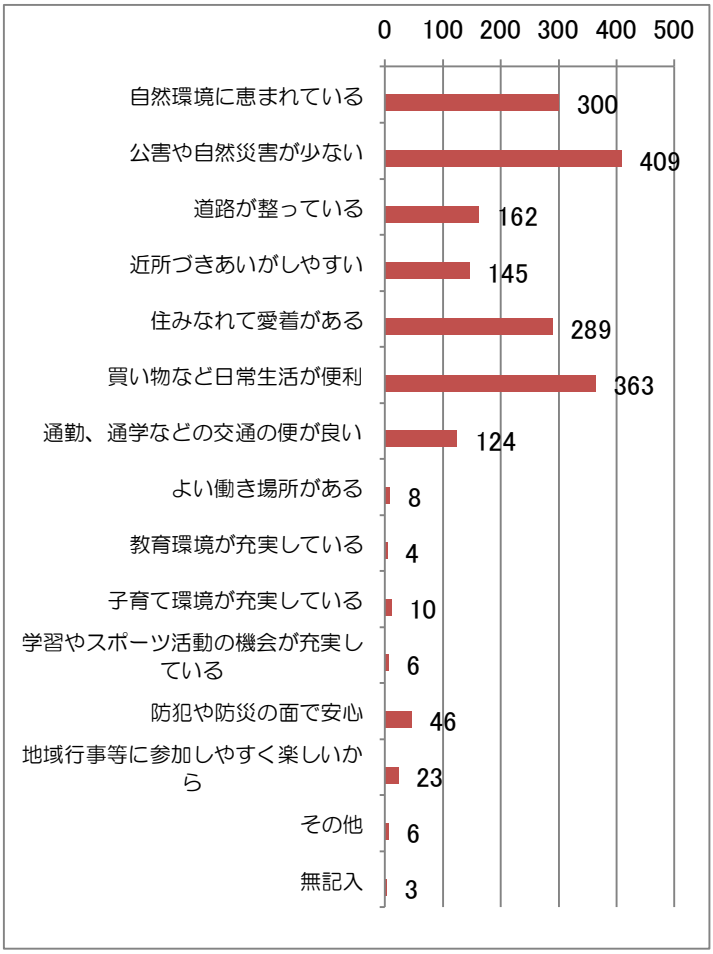
問 3　あなたは岡山校区を住み良いと思いますか。

項目	回答数	割合
住みよい	351	44.2%
どちらかといえば住みよい	365	46.0%
どちらかといえば住みにくい	65	8.2%
住みにくい	7	0.9%
無記入	6	0.8%
合計	794	100.0%



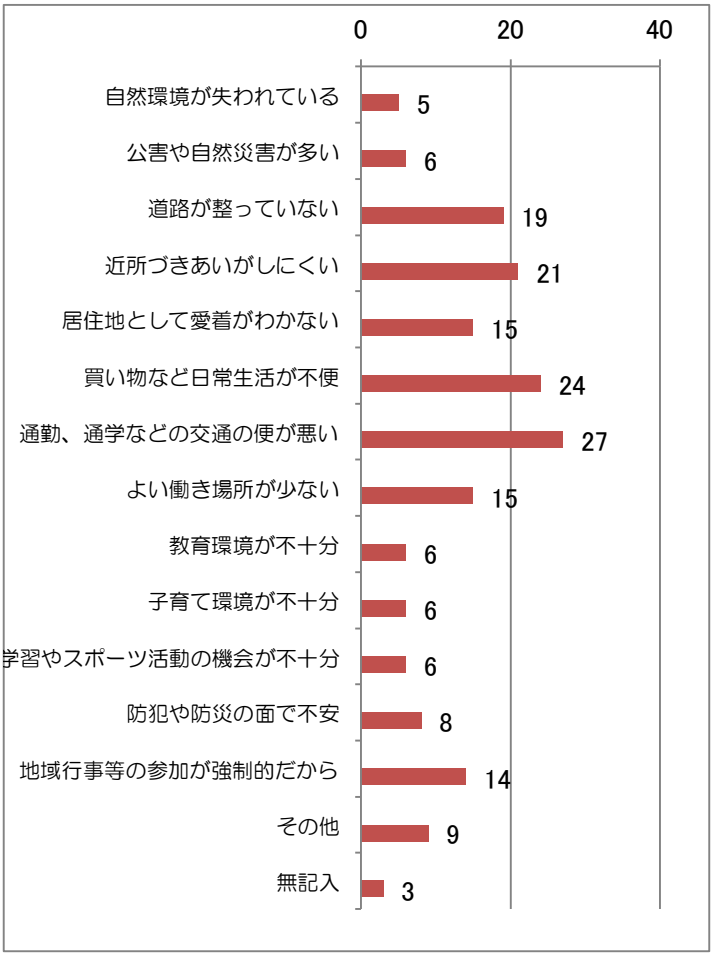
問 4　問3で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答した方は、その理由を次の中から選んで下さい。

項目	回答数	割合
自然環境に恵まれている	300	15.8%
公害や自然災害が少ない	409	21.5%
道路が整っている	162	8.5%
近所づきあいがしやすい	145	7.6%
住みなれて愛着がある	289	15.2%
買い物など日常生活が便利	363	19.1%
通勤、通学などの交通の便が良い	124	6.5%
よい働き場所がある	8	0.4%
教育環境が充実している	4	0.2%
子育て環境が充実している	10	0.5%
学習やスポーツ活動の機会が充実している	6	0.3%
防犯や防災の面で安心	46	2.4%
地域行事等に参加しやすく楽しいから	23	1.2%
その他	6	0.3%
無記入	3	0.2%
合計	1,898	100.0%



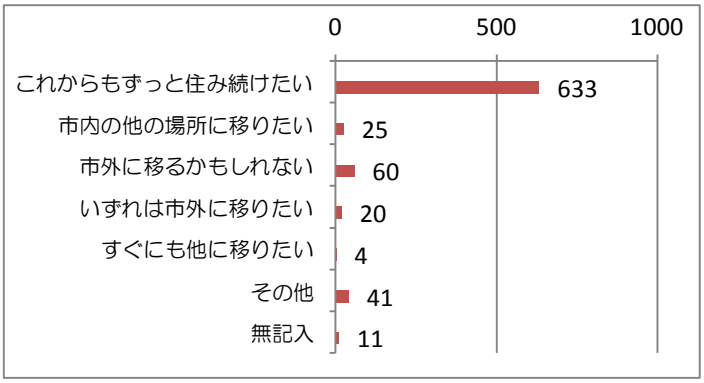
問 5　問3で「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」と回答した方は、その理由を次の中から選んで下さい。

項目	回答数	割合
自然環境が失われている	5	2.7%
公害や自然災害が多い	6	3.3%
道路が整っていない	19	10.3%
近所づきあいがしにくい	21	11.4%
居住地として愛着がわかない	15	8.2%
買い物など日常生活が不便	24	13.0%
通勤、通学などの交通の便が悪い	27	14.7%
よい働き場所が少ない	15	8.2%
教育環境が不十分	6	3.3%
子育て環境が不十分	6	3.3%
学習やスポーツ活動の機会が不十分	6	3.3%
防犯や防災の面で不安	8	4.3%
地域行事等の参加が強制的だから	14	7.6%
その他	9	4.9%
無記入	3	1.6%
合計	184	100.0%



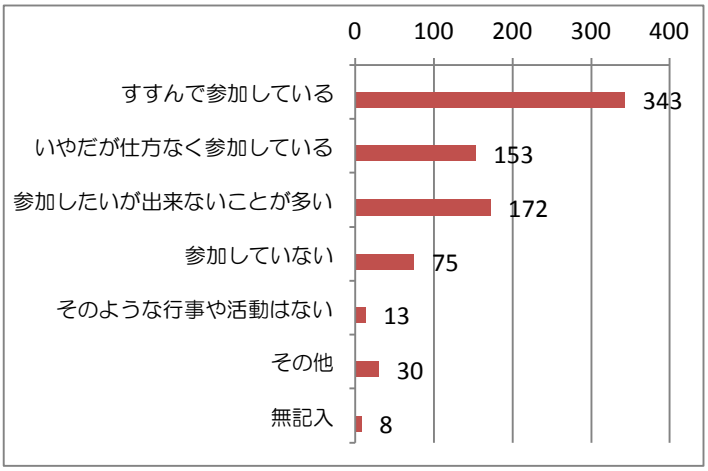
問 6　あなたは今お住まいのところに住み続けたいですか。

項目	回答数	割合
これからもずっと住み続けたい	633	79.7%
市内の他の場所に移りたい	25	3.1%
市外に移るかもしれない	60	7.6%
いずれは市外に移りたい	20	2.5%
すぐにも他に移りたい	4	0.5%
その他	41	5.2%
無記入	11	1.4%
合計	794	100.0%



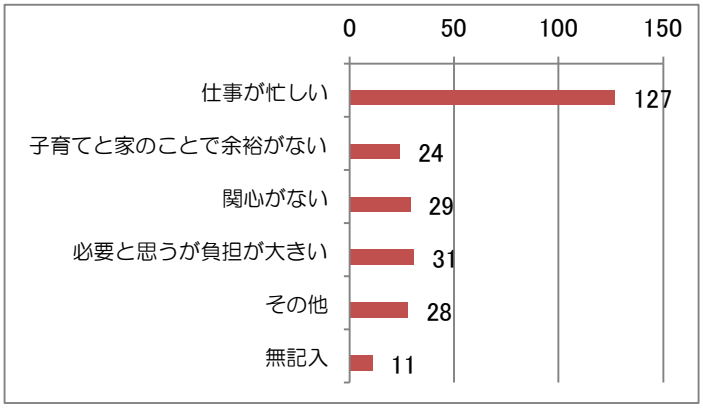
問 7　あなたは地域におけるさまざまな活動や行事に参加されたことはありますか。

項目	回答数	割合
すすんで参加している	343	43.2%
いやだが仕方なく参加している	153	19.3%
参加したいが出来ないことが多い	172	21.7%
参加していない	75	9.4%
そのような行事や活動はない	13	1.6%
その他	30	3.8%
無記入	8	1.0%
合計	794	100.0%



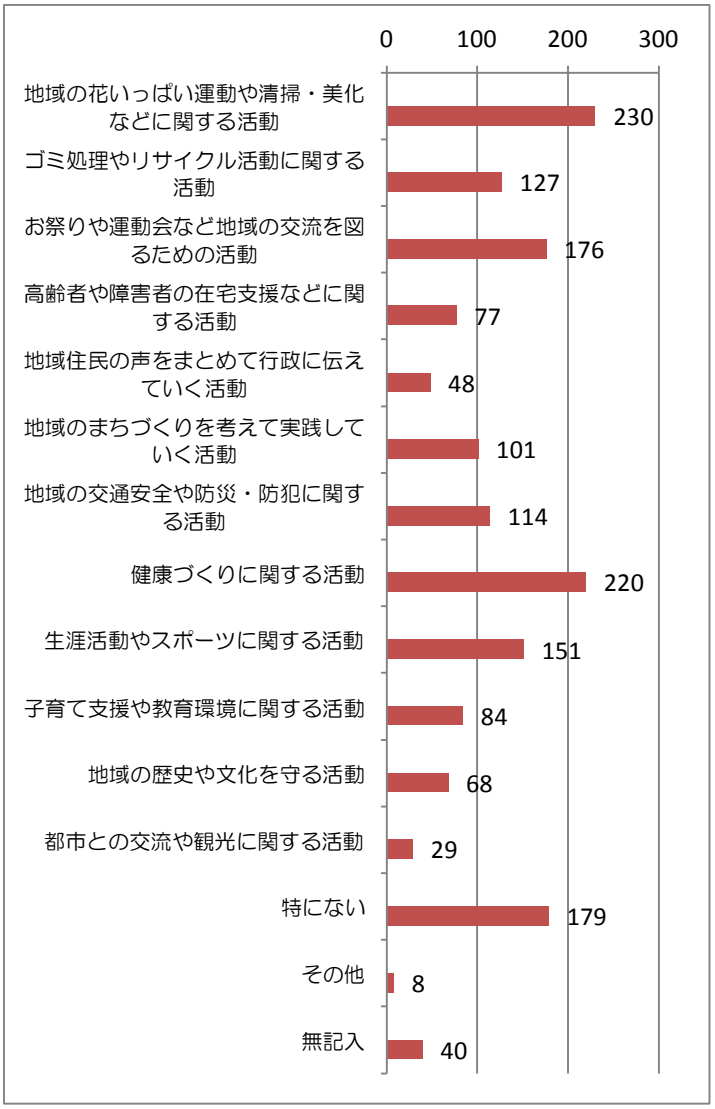
問 8　問7で「参加できないことが多い」「参加していない」と回答された方の理由をお尋ねします。

項目	回答数	割合
仕事が忙しい	127	50.8%
子育てと家のことで余裕がない	24	9.6%
関心がない	29	11.6%
必要と思うが負担が大きい	31	12.4%
その他	28	11.2%
無記入	11	4.4%
合計	250	100.0%



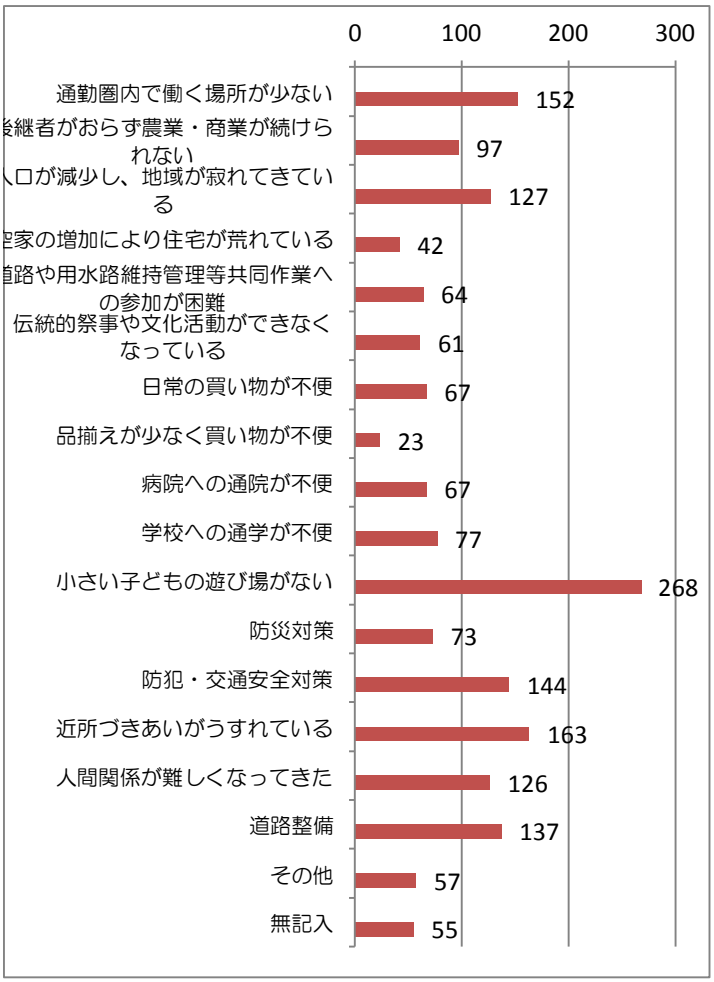
問 9　あなたが参加したいと思う活動は。

項目	回答数	割合
地域の花いっぱい運動や清掃・美化などに関する活動	230	13.9%
ゴミ処理やリサイクル活動に関する活動	127	7.7%
お祭りや運動会など地域の交流を図るための活動	176	10.7%
高齢者や障害者の在宅支援などに関する活動	77	4.7%
地域住民の声をまとめて行政に伝えていく活動	48	2.9%
地域のまちづくりを考えて実践していく活動	101	6.1%
地域の交通安全や防災・防犯に関する活動	114	6.9%
健康づくりに関する活動	220	13.3%
生涯活動やスポーツに関する活動	151	9.1%
子育て支援や教育環境に関する活動	84	5.1%
地域の歴史や文化を守る活動	68	4.1%
都市との交流や観光に関する活動	29	1.8%
特にない	179	10.8%
その他	8	0.5%
無記入	40	2.4%
合計	1,652	100.0%



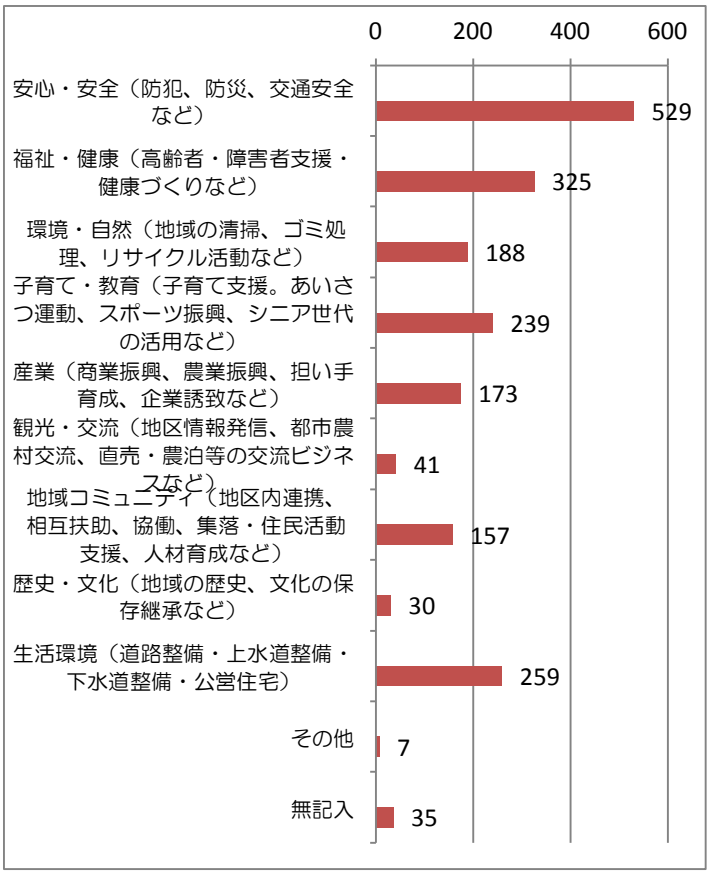
問 10　岡山校区で生活を維持する上で、不便や不安を感じることは何ですか。

項目	回答数	割合
通勤圏内で働く場所が少ない	152	8.4%
後継者がおらず農業・商業が続けられない	97	5.4%
人口が減少し、地域が寂れてきている	127	7.1%
空家の増加により住宅が荒れている	42	2.3%
道路や用水路維持管理等共同作業への参加が困難	64	3.6%
伝統的祭事や文化活動ができなくなっている	61	3.4%
日常の買い物が不便	67	3.7%
品揃えが少なく買い物が不便	23	1.3%
病院への通院が不便	67	3.7%
学校への通学が不便	77	4.3%
小さい子どもの遊び場がない	268	14.9%
防災対策	73	4.1%
防犯・交通安全対策	144	8.0%
近所づきあいがうすれている	163	9.1%
人間関係が難しくなってきた	126	7.0%
道路整備	137	7.6%
その他	57	3.2%
無記入	55	3.1%
合計	1,800	100.0%



問 11　岡山校区にとって重要と思うことは何ですか。

項目	回答数	割合
安心・安全（防犯、防災、交通安全など）	529	26.7%
福祉・健康（高齢者・障害者支援・健康づくりなど）	325	16.4%
環境・自然（地域の清掃、ゴミ処理、リサイクル活動など）	188	9.5%
子育て・教育（子育て支援。あいさつ運動、スポーツ振興、シニア世代の活用など）	239	12.1%
産業（商業振興、農業振興、担い手育成、企業誘致など）	173	8.7%
観光・交流（地区情報発信、都市農村交流、直売・農泊等の交流ビジネスなど）	41	2.1%
地域コミュニティ（地区内連携、相互扶助、協働、集落・住民活動支援、人材育成など）	157	7.9%
歴史・文化（地域の歴史、文化の保存継承など）	30	1.5%
生活環境（道路整備・上水道整備・下水道整備・公営住宅）	259	13.1%
その他	7	0.4%
無記入	35	1.8%
合計	1,983	100.0%



問 12　あなたは、将来の岡山校区をどのようなまちにしたいですか。

項目	回答数	割合
子育てしやすく、子どもが明るく育つまち	362	17.0%
保険医療が充実した健康づくりがさかんなまち	157	7.4%
人権を守り、さまざまな人にやさしいまち	153	7.2%
みんなで支え合う地域コミュニティの活発なまち	158	7.4%
歴史文化文化を大切にするまち	18	0.8%
家庭や職場などで、男女が共に参画するまち	19	0.9%
農業がさかんで、田畑の美しいまち	97	4.6%
工業がさかんで活気のあるまち	27	1.3%
大勢の来訪者が訪れる観光のまち	16	0.8%
産業がさかんで働く場所が多いまち	92	4.3%
道路や公共交通などの利便性の高いまち	161	7.6%
情報基盤が整備されたまち	15	0.7%
生涯学習、文化活動やスポーツのさかんなまち	47	2.2%
自然が豊かで、うるおいのある生活環境のまち	208	9.8%
商業・サービス業がさかんで買い物に便利なまち	71	3.3%
高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち	197	9.3%
ごみの減量やリサイクル活動に積極的に取り組むまち	26	1.2%
災害に強く、犯罪や事故のない安心・安全なまち	271	12.7%
その他	5	0.2%
無記入	27	1.3%
合計	2,127	100.0%

岡山校区地域振興計画アンケート意見・提案集

◆まちづくりについての意見・提案等を抜粋、要約し、項目ごとに当てはめたものです。

1．安全・安心（防犯、防災、交通安全など）

性別	年代	意見・提案
男性	20 歳代	◆岡山校区は事故が多すぎる。国道 442 号の歩道と車道の間に、ガードレールを設置するべきである。
男性	30 歳代	◆龍ケ原地区の道路は狭いのに通りが多く、子供たちの通学が心配です。歩道の整備を特に取組んでほしいです。
女性	30 歳代	◆岡山校区は比較的水害等の影響は少ないが、道路、交通の面で危険や不便な力所が見受けられる。子供達や高齢者にやさしい安全・安心なまちづくりに取り組みたい。
女性	30 歳代	◆蒲原の神社にはブランコなどの遊具があるので、子供を連れて行くことが多いが、ガラス（瓶？）の破片がよく落ちている。小さい子が踏んだり、転んだりして大けがしそうで危ない。何度か自分で拾い集めたが、定期的に清掃される時も気がけてほしい。
女性	30 歳代	◆西短ラーメン前の通り、点滅信号機があるにもかかわらず、徐行しない車がけっこう多いため、速度抑制や注意喚起をするため段差舗装をしてもらいたい。
女性	30 歳代	◆排水の状態が悪い。集中豪雨時に課題あり。
女性	30 歳代	◆岡山球場付近、街灯が非常に少ないので設置して頂きたい。夜とても暗いため、子供（学生）の帰宅が遅くなる場合不安です。
女性	30 歳代	◆行政区の境にある小さな交差点等には、街灯や横断歩道がなく事故が多いので、区長同士しっかり話し合ってほしい。電気代等の関係でしょうか？話がすすみません。
男性	40 歳代	◆水路、河川等の整備により、水害に強いまちづくり。
男性	40 歳代	◆子供たちが安全に通学できる様に、通学路すべてに歩道を作ってほしいです。
女性	40 歳代	◆農業が盛んになるのはいいのですが、農作業車が道路に何台も駐車したり、草も道路端に捨てる方がいます。歩道が広くなっても自転車で通りずらい事がしばしばです。
女性	40 歳代	◆道が狭いのにスピードを出して通る車が多いので、危険だと思う。特にお年寄りには。
女性	40 歳代	◆自然が豊かでとても良い環境なのですが、反面、街灯が少なく夜道を歩くと少しこわい時があります。
女性	40 歳代	◆安全を確認する「ミラー」が変な方向に向いています、正しい設置をお願いします。
男性	50 歳代	◆道路が整備され商業施設が多くなった事で、交通量の増加と共に事故も増え、交通対策が必要急務です。
男性	50 歳代	◆河川の整備をよくしてほしい。（災害・水害等）
男性	50 歳代	◆防犯、防災の対策は、特にお願いしたいことの一つです。
男性	50 歳代	◆街灯が少ない。
男性	50 歳代	◆水害対策。
男性	50 歳代	◆道路ばかり広くなっても、車が多くなり子供にとっては危険だと思う。
男性	50 歳代	◆風水害のないまちづくり。 川の補修、岡山公園の整備、シイノキの間伐、室岡のみゆき橋のかさ上げ。

男性	50 歳代	◆通学路における車のスピードの出しすぎが多いため、標識看板を設置する。例として「ここは子供たちの通学路、思いやりの運転に心がけて下さい」など。マナー向上。
女性	50 歳代	◆大雨の際、川が氾濫し車で出られなくなるので、河川の整備ができればと思います。
女性	50 歳代	◆街灯が少なく、夜間学生たちが帰宅するのに危険な場所がある。（バルビゾン通り・今福・新 442 号線沿いなど）
女性	50 歳代	◆商業施設に夜中集まって来る者や、泊っていく者、騒ぐ者など多く、犯罪の面から不安を感じている。
女性	50 歳代	◆蒲原の道路にトレーラーなどの大型車が多く通行し、歩行者、自転車等の通行に危険を感じる。
女性	50 歳代	◆子供達が安心に安全に遊べる場の提供。
女性	50 歳代	◆交通量が増しているが、歩道整備が進んでいない。
男性	60 歳代	◆立野地区には、交差点の信号機が少ない。
女性	60 歳代	◆旧矢部線跡の道路には立派な歩道（自転車通行可）が設置してありますが、車道との段差が大きくて、シルバーカーやベビーカー、自転車等を歩道へ持ち上げたり下げたりするのが大変で利用し辛いです。少し傾斜をつけて貰えると有りがたいです。
女性	60 歳代	◆大型トラックが細い道を通るので、規制なり道路拡張をお願いしたい。
女性	60 歳代	◆歩道が作れない道路には、だまし絵の歩道を描いたらどうでしょうか。
女性	60 歳代	◆危険通学路の整備。
女性	60 歳代	◆防災訓練。
男性	70 歳以上	◆岡山地区の東西に 3 本の大きな道路が通り、それに沿って商業施設の建物が出来て外からの出入りが多くなった。若い人が集まる事は悪いとは思わぬが、悪の温床にならぬ様、注意の必要があると思う。
男性	70 歳以上	◆他の町に見られるように、朝・昼・夕、音楽の流れる町にしてほしいですね。その町の状態がわかります。
男性	70 歳以上	◆旧矢部線道路での交通事故が大変多い。また大型店等ができ、交通量も増えている。通学路もある中で道路の整備が間に合っていない。
男性	70 歳以上	◆今福から鵜池の交差点までが、県道の道幅が狭く、朝、午後の通学時は事故に遭わないかいつも心配である。今福から溝口間の県道の拡幅について八女土木整備事務所と交渉をお願いいたします。
男性	70 歳以上	◆この少子化時代、子供は宝です。もっと伸び伸びと安全に通学できる方法はないものでしょうか？

2．福祉・健康（高齢者・障害者支援、健康づくりなど）

性別	年代	意見・提案
男性	40 歳代	◆福祉にもっと力を入れてほしい。
不明	40 歳代	◆健康に育ってもらいたいため、幼児が遊べる砂場、親子で楽しめる散歩コースなど、野外での施設を検討してもらいたい。
男性	50 歳代	◆一人暮らしの高齢者が多くなり、今後の高齢者対策が望まれる。

男性	50 歳代	◆安全に歩ける散歩コースなどを整備してほしい。そうすることで、市がすすめる健康増進につながるのでは。（安全に歩ける散歩コースには、街灯を増やしてほしい。）
女性	50 歳代	◆高齢者、障害者、子供にやさしい、モデルになるような地域作りができたらいいと思います。
女性	50 歳代	◆高齢化が進む中で、地域の若年層との相互交流が必要であると思います。
女性	50 歳代	◆龍ケ原地区ですが、公園がありません。年寄りから子供まで遊べる公園がほしいです。
女性	50 歳代	◆ＰＭ２．５等の飛来で、安心して外であそべません。室内で遊べる施設ができたらいいと思います。
女性	50 歳代	◆運転ができる間は良いのですが、出来なくなったら不安です。公共交通機関の充実を望みます。
男性	60 歳代	◆少子高齢化が一段と進む中、高齢者への対応はどうしていくか。
男性	60 歳代	◆保健医療が充実し、子供から高齢者や障害者まで明るく健康に過ごせる、福祉のまちづくり。
男性	60 歳代	◆福祉面に力を入れてもらいたい。
女性	60 歳代	◆若い人たちが住みたいと思うまちと、高齢者が安心して生活できるまち。
女性	60 歳代	◆高齢者が安心して遊べる場所がほしい。
女性	60 歳代	◆乗合タクシーの件です。はっきりした時間が予定できないし、思う様に利用出来ないとのことです。ほとんど老人の方が多いと思いますので、対応をよろしくお願いします。
女性	60 歳代	◆地区でラジオ体操など。（公民館を借りて）
男性	70 歳以上	◆80 歳になりますが、車の運転に不安を抱きながら買い物や病院に行っています。公共の交通機関があればいいのですが・・。
男性	70 歳以上	◆人口減少、高齢化が進むことについての対応策が必要。八女市の具体策が見えない。

３．環境・自然（地域の清掃、ゴミ処理、リサイクル活動など）

性別	年代	意見・提案
女性	30 歳代	◆リサイクル、ゴミ等は土日以外にも出せないのかと思う。
女性	40 歳代	◆ここ数年、魚市場より腐ったにおいがしばらく続く。少しの期間なら我慢できるが、長い日々続くのでどうにかしてほしい。
女性	40 歳代	◆道端や庭などに平気でゴミを捨てる人が多くて困る。商業施設が増えたので目立つようになった。わが子にはちゃんとゴミについては厳しく言ってます。
男性	50 歳代	◆養豚場の悪臭対策を市全体の問題として検討してもらいたい。
男性	50 歳代	◆養豚場等から出る悪臭問題の解決。
女性	50 歳代	◆岡山校区に２か所、悪臭を放つ場所があり、臭いと虫が発生していて生活環境が良いとは思えない。２か所のために、全体を悪い印象を与えている。市の対応により、一日も早い解決を望みます。
男性	60 歳代	◆斎場の事は考えてありますか！横のゴミ捨て場！
男性	60 歳代	◆蒲原区の青果市場からの異臭がすごい、とても我慢できる状態でない。タケノコの皮等の腐れた臭い。いままでずっと言ってきたが！

男性	60 歳代	◆護岸整備は、河川をきれいにし、底を深く（浚渫）することによって川の流れを良くし、水害時の冠水を減らし、また火災時の水を確保でき、魚溜まりが出来るため多くの魚達がうるおう。ただ護岸整備は自然を破壊するため、水辺に生息する鳥類、昆虫等の棲家を奪ってしまう。浚渫工事は魚類を巻き添えにしてしまう。両立してこそ行政である。
男性	60 歳代	◆養豚、養鶏場からの悪臭は、地域に住む人達の大きな悩みの種である。しかし悪臭を無くすことは出来ない。そこで市町村に散らばっている養豚、養鶏場等を一つに集約（団地化）し、そこで個々の人達が飼育する。近代的な設備を施し、臭いをおさえ、糞尿が外部に流れ出ないようにそばには堆肥工場を備える。出来た堆肥は販売する。こうした大掛かりな施設が必要と思う。しかしこの事業を成すには、国、県が前面に出て推進していかねば出来ないだろう。
男性	60 歳代	◆犬の散歩で、家の前でフンをさせてそのままにしている。（マナーの悪い人が多い）
女性	60 歳代	◆湯下の下公園の下の石橋（アーチ型の石橋）が、やぶが繁り見えなくなっています。きれいな階段もあり、桜の頃は眺めも良くいいところです。
女性	60 歳代	◆魚市場付近の川に、汚水が流されていると言う噂が・・・。時々強烈な臭いに長時間つつまれる事があります。別の方向からは、雨の時期になると家畜の糞尿のような臭いがするし、不快です。環境面に注目してほしいです。
女性	60 歳代	◆使われていない畑の雑草がひどくて、何度も市役所に電話等しても改善されません。アレルギーがひどくなり困っています。雑草のない岡山校区になればいいと思います。
不明	60 歳代	◆青果市場付近で、悪臭がひどい時、窓も開けられず食事も取りたくない生活が続きます。野菜とかの堆肥を作ってあるのでしょうか？移動してもらえないのかと思います。
男性	70 歳以上	◆養豚場及び青果のタケノコ堆肥づくりによる悪臭対策が一向に進展しない、市の抜本的対策を切に希望します。
男性	70 歳以上	◆水路の護岸、浚渫等、全面的な改良が望まれる。
男性	70 歳以上	◆幹線道路沿いでは、地区外の人が早朝通勤の際ゴミ出しを行っている。ネットを被せないのでカラスが散乱させて周囲の人が困っている。ルールを守る方策。
男性	70 歳以上	◆岡山公園の見晴らしが良くなる様、南側の木の伐採はできないか。
女性	70 歳以上	◆時々、ナイロン等を燃やしてある事があります。洗濯物等にいやな臭いがつきます。ご注意をお願いしたいと思います。

4．子育て・教育（子育て支援、あいさつ運動、スポーツ振興、シニア世代の活用など）

性別	年代	意見・提案
女性	20 歳代	◆これから子育てしていく者にとって、子育て支援が充実した町になったら嬉しいです。
女性	30 歳代	◆子供たちが安心して遊べる施設（すべり台・ブランコ設備）を近くに作ってほしい。
女性	30 歳代	◆岡山校区に公園はありますか？野球場や少しの広場はあっても、子供たちが走って遊び回れる場所がない気がします。おじいちゃん、おばあちゃんが孫と一緒に散歩したり遊べる、そういう所は必要だと思います。

女性	30 歳代	◆住宅が増え、空き地も少なくなっている中で、子供たちが自由に伸び伸びとできる公園がありません。ボール投げもできる運動公園をつくってほしいです。
女性	30 歳代	◆大きな道路もあり、交通の便などはいいと思いますが、小さい子が遊べる公園などがないのが残念です。公園ができればたくさんの方とのコミュニケーションがとれたり、知り合いができたりするのではないでしょうか。新しい支援センターには車でないと行けないので、徒歩圏内にあるとすごくありがたいです。
男性	40 歳代	◆子供が安心して遊べて、育っていく環境。
女性	40 歳代	◆子供たちの遊べる場所が少ない、伸び伸びと遊べる場所がほしい。
女性	40 歳代	◆八女には公園が少なすぎます。これでは、子供はゲームをするしかないです。小さい子どもからお年寄りまで様々な世代で楽しめる、自然あふれる公園の整備。
不明	40 歳代	◆健康に育ってもらいたいため、幼児が遊べる砂場、親子で楽しめる散歩コースなど、野外での施設を検討してもらいたい。
男性	50 歳代	◆室岡は子供が遊べる場所がない。公園をつくり遊具等で遊ばせる所を考えて欲しい。
女性	50 歳代	◆小中高生のコミュニケーションの場、居場所を作っていただきたい。気軽に立ち寄れる交流館など、もっと増やしてほしい。
女性	50 歳代	◆昔、えのき台公園にすべり台とか遊具があって子育てしやすかったけど、いま孫を遊ばせる場所がなくなり、車であちこち回りすべり台やブランコを探して遊ばせています。
女性	50 歳代	◆子育てネットワークをはじめ、相談できる人が必要。
女性	50 歳代	◆龍ケ原地区ですが、公園がありません。年寄りから子供まで遊べる公園がほしいです。
女性	50 歳代	◆将来のことを考えると、子供の教育が一番大切だと思います。学力も大切ですし、道徳心というものも・・・。権利ばかりを主張するのではなく、他人のため、公共のためにという事も考えられるような大人に育てる事が、大事だと思います。
女性	50 歳代	◆鵜池は、子供たちが安全に遊ぶ場所や散歩する所もありません。学校の運動場では、野球、サッカーなどが主で、それ以外の子供たちがボールなどで遊ぶことができません。小さい子供たちも同じで、すべり台、ブランコなどで遊ぶこともできません。
男性	60 歳代	◆少子高齢化が一段と進む中、若年層が地元に残るにはどうすればいいか。
男性	60 歳代	◆とても暮らしやすい校区です。夏休みにラジオ体操に行くと、知らない子供達でも大きな声で挨拶してくれます。とてもうれしかったです。子供達が明るく育つまち,そして、みんなで支え合うまちを望みます。
男性	60 歳代	◆子育てへの援助ができる環境づくり。
女性	60 歳代	◆子育てしやすいまちづくり（補助支援）
女性	60 歳代	◆シニア世代と子供達との「ふれあいの場」を積極的に考えたらと思います。例えば、蒲原町内ではグラウンドゴルフを小学生達と一緒に楽しんでおられます。核家族が多いこの頃、こうしたふれあいを通して「子供達は、こんな考えを持つのか？」とか、新しい情報が聞けたりとか。また、その反対におじいちゃん、おばあちゃんから礼儀や作法、話し方など自然に教わる事ができるのではないでしょうか？高齢者が多くなる世の中で、認知症予防対策のひとつにもなるかもしれません。「しめ縄作り」など、大人ばかりでしていますが、子供たちも気軽に参加できるようになりたいものです。

女性	60 歳代	◆小学校などの空き教室等を利用し、待機児童とお年寄りを集まれる様にすれば、子供達とのふれあいもできるのでは？
女性	60 歳代	◆子供が安心して遊べる公園がない。
女性	60 歳代	◆子供が安心して遊べる場所がほしい。
不明	60 歳代	◆子供のいる家庭が少なくなり人口減少になっています。だからこそ、若い人達の住みやすいまちづくりと緑のあるまちを願っています。
男性	70 歳以上	◆「子育てしやすく、子どもが明るく育つまち」を重点に考えると、岡山校区には親子（幼児）で遊べる公園がない。緑が多く、場所的にも環境の良い公園がほしい。
男性	70 歳以上	◆移動図書館をつくる 学校の夏休み期間中、各公民館を移動する。図書は個人からの提出物も利用する。
女性	70 歳以上	◆あいさつの出来る子供たちになってほしい。

５．産業（商業振興、農業振興、担い手育成、企業誘致など）

性別	年代	意見・提案
女性	20 歳代	◆442 号線沿いにもっと色々な専門店が出来れば、さらに便利になると思う。
男性	40 歳代	◆１２年ぶりに岡山校区に帰ってきました。帰って来て感じることは、時の流れを感じることで、人は歳を取り、空家は増えるなどとても寂しい情景が広がっています。これらは、後継者が両親の元を離れるなどいくつか考えられますが、その要因は産業の衰退が大きいのかなと考えます。地域産業の中心は農業だったのですが、高齢化が進む中、農業を取り巻く状況は大変厳しく、再生の糸口を見つける事は難しくなっています。しかし、幸い岡山校区は八女ＩＣに近く、福岡近郊に住む人達を引き付ける魅力を持った地域だと思われます。
男性	40 歳代	◆岡山校区は、八女インターがあり筑後市に隣接した地域で、今後も発展していく重要な場所であるため、力を入れて開発していかないといけないと思います。
男性	40 歳代	◆農業、商業、産業のバランスがとれ、働く人にとって住みよい、そして子供たちの教育環境が整った、安心して暮らせるまちづくりに協力したい。
女性	40 歳代	◆高速道路インターや大型商業施設の進出等で、ベッドタウンとしてのアピールを積極的に行い、人口増を目指してはいかがでしょう。保育園も都会より充実しています。
男性	50 歳代	◆若者が働ける場所があれば、子供たちも帰って来る事ができるのだろうが、現実は難しい。
男性	50 歳代	◆前古賀工業団地を早く作ってほしい。働く場所がないと町の活力を奪う事になる。
女性	50 歳代	◆高齢化により田畑の管理ができない場所が多く見受けられるようになりました。荒地（放棄地）にならないような対策を考えてほしいです。
男性	60 歳代	◆地域格差のない町内のレベルアップ行政と、商業・工業・農業等の均一発展。
男性	60 歳代	◆岡山校区は、高速道路のインターや４４２号線など、交通の便も良く、企業等の誘致出来る場所が沢山ある。市がもっと力を入れてほしいと思う。
男性	60 歳代	◆商業、工業、農業等の均一発展。
男性	60 歳代	◆子、孫が市内で働ける様なまちづくり。

男性	60 歳代	◆町を活性化するためには、若者が多く残っていなければならないと思う。有能な人でも働ける仕事場が必要である。校区での対応は無理であり、行政へ進言するべきかと。振興の基本は先ず人、特に若い人の力である。
男性	70 歳以上	◆岡山校区には荒れた農地が多く見られ、農業をやって行く上で迷惑している所もたくさんあります。個人では解決できない問題ですので、何かの組織を作って考えたらどうでしょう。
男性	70 歳以上	◆農地（茶畑や果樹園）の転用（売り地として）の仲介・斡旋をする場合、その近所に住んでいる住民のことを配慮（環境等）し、買い手の計画・内容から考えて紹介していただきたいと思います。そのためには仲介・斡旋される業者さん等への、行政等からの指導が大切と考えますが、いかがでしょうか。
男性	70 歳以上	◆働ける職場がないため、若者が少なく、消防団の運営に不安を感じる。

6．観光・交流（地区情報発信、都市農村交流、直売、農泊等の交流ビジネスなど）

性別	年代	意見・提案
女性	40 歳代	◆八女インターからも近い立地にあるため、もう少し観光客が増えてほしい。その為には岡山校区といえばここという目玉（ものづくり、工芸品、休憩所等）を作って、たくさんの方に訪れてほしい。
女性	40 歳代	◆岡山校区以外から来た者にも、その地域の方と知り合う機会がほしい。岡山校区全体で習い事が出来て、色々な区域の方と知り合いになれる場所がほしい。
女性	60 歳代	◆山の井川の両サイドに道路がありますが、ここに桜並木があったらきれいだろうと思います。いろいろな規制があって無理でしょうか。
女性	70 歳以上	◆校区内の交流行事が少ないため、親しくなる機会が無い。また、隣町を知る事が出来ない。

7．地域コミュニティ（地区内連携、相互扶助、協働、集落・住民活動支援、人材育成など）

性別	年代	意見・提案
男性	20 歳代	◆岡山校区が新しく変わっていくためには、みんなで協力し、活動していくことだと思います。
男性	30 歳代	◆本気でまちづくりをしたいのなら、若い人も会議に加えて欲しいです。
女性	30 歳代	◆岡山校区に住んで良かったと思える活動があれば参加したい。
女性	30 歳代	◆公民館の活用をさかんに盛り上げて、多世代交流の場としてほしい。（習字、英会話、将棋、料理、手芸の会など）
女性	30 歳代	◆30 代共働きの夫婦ですが、隣組長を２年しなくてはいけません。子供もいるため、会合等に出るのも大変です。隣組を脱退しようと思いましたが、そう簡単にはできないと言われました。近所付き合いも大切だと思いますが、私たちも働かないと生活できません。もっと若い人達が住める環境を作ってほしいです。
男性	40 歳代	◆岡山校区の祭り、スポーツ大会、文化祭等を今以上に充実してほしい。

男性	40 歳代	◆岡山校区には様々な力（技術）を持っている人がたくさん居られると思います。そういう人達と上手く連携活用した、相互ボランティアみたいなグループを作ったらどうだろうかと思います。「空いた時間だったら、自分のできることだったら、手伝っていいよ！」という方々に登録してもらって、一人暮らし、二人暮らしの高齢者宅、母子家庭などから、「〇〇ができなくて困っているけど、どなたかしてもらえませんか？」みたいなニーズに応えるようなグループです。これだけ多くの方が岡山校区に住んでいます。極端な話、全ての人が何かできることがあると思います。そういうものを互いに持ち合って、助け合える団体ができれば、どういう家庭になっても、この岡山校区で住み続けることができると思います。意外と他のどこにも無いような活動だと思い、是非進めて欲しいと思います。
女性	40 歳代	◆運動会（地区の）は無くてもいいと思う。そこに家を建てた人や前からずっと住んでいる人は参加する意味もあるだろうが、アパートに住んでいる人は参加しないし負担になる。地区の行事で交流が必要ならば、もっと短時間で準備も必要ないものがいい。
男性	50 歳代	◆岡山校区はアパート等が毎年建設され、地域の方とのコミュニケーションが難しくなっています。アパート等の入居者等を含め、住民参加型のイベント等を多く企画したらどうでしょう？
男性	50 歳代	◆アパート等がたくさんできて、地域とのふれあいが少なくなってきているように感じます。アパートの住民も隣組に加入してもらい、地域の住民として自覚ある行動をとってもらいたいと思います。また、町は急テンポで発展していますが、昔からのしきたり等、時代にそぐわないものは改善してほしいです。隣組長が２年と言うのはあまりにも負担が大きいし、時間のムダです。隣組にアパートの住民が加入しない大きな原因はここにあります。地域のコミュニティを高める対策を図ってほしいと思います。
男性	50 歳代	◆最近外国人（中国人？）を良く見かける。差別的な見方をしているわけではないが、話し声が大きく、あまり良い印象がない。防犯面でも気になるときがある。
女性	50 歳代	◆差別、偏見、仲間はずれがないこと。
女性	50 歳代	◆ＮＨＫの世界街歩きなどを観て感じるのですが、町の中で作りつけの椅子などに腰をおろし、一休みしたりおしゃべりしたりする市民の風景がよく映し出されます。自然な交流の場としてうらやましくもあります。そんなまちづくりを期待します。
女性	50 歳代	◆公民館の利用を有意義に。
男性	60 歳代	◆集合住宅居住者の地域活動への参加。（マナーを守る認識を持ってもらいたい）鵜池はそんなに感じないが、他の地域ではゴミ捨て、駐車マナー等が良くない。
男性	60 歳代	◆校区にアパートが増え、地域のルールを無視した行為が散見される。入居者へのルール厳守と、モラルを高める指導を要望したい。
男性	60 歳代	◆校区全体での行事（簡単に参加できる）の開催。
男性	60 歳代	◆都会にはない田舎の財産は、「自然」と「安全（有機農業）な食材」と「高齢者」そして「子供」たちです。お金では買えないこれらのものを、相互につないでいく活動（事業）を積み重ねるしかないと思います。また、そこから就労の場も生まれてくる可能性はあると思います。「つながり」を支援していくことが課題ではないでしょうか。
男性	60 歳代	◆地域格差のない町内のレベルアップ行政。

男性	60 歳代	◆町を活性化するためには、若者が多く残っていなければならないと思う。有能な人でも働ける仕事場が必要である。校区での対応は無理であり、行政へ進言するべきかと。振興の基本は先ず人、特に若い人の力である。
女性	60 歳代	◆みんなが楽しめる催しをしたらよいと思う。
女性	60 歳代	◆地域の皆さんと協力しあって、明るい楽しい活動に参加したい！！
女性	60 歳代	◆行事を増やす。（バザーなど春のさくら祭りなどの時に）
男性	70 歳以上	◆アパートが増える中、アパート住民は隣組長がいないため地区行事の参加等に協力がなく、一つになれない。
男性	70 歳以上	◆アパート、企業も含めた地域活動が必要では。
男性	70 歳以上	◆岡山校区外からの移住は大歓迎です。でも、ほとんどが町内に加入していないのが現状です。隣のアパートに住んでいるのに挨拶はもちろん、話もしないのが現実です。もちろん名前も知りません。町内に加入され、皆で協力して生活を楽しんでほしい。
男性	70 歳以上	◆宮総代の世話人は固定せずに、各集落（行政区）に１～２年毎に回しにする。お札やカレンダーの配布も隣組長（行政区）でする事。
男性	70 歳以上	◆地域住民がふれあえる居場所づくり。
男性	70 歳以上	◆青年団の組織化について 校区毎に１組織（団体）を作り、八女市で一つに統一する。若い人々の地域コミュニティとして活用する。
女性	不明	◆お年寄りをいたわり子どもは明るく、人にやさしく、そして支え合って暮らせる岡山校区であってほしい。

8．歴史・文化（地域の歴史、文化の保存継承など）

性別	年代	意見・提案
男性	30 歳代	◆神社の世話が全世帯に回っていないので、全世帯に回るようにしてほしい。
男性	50 歳代	◆歴史文化を大切にし、自然豊かで潤いのある生活環境のあるまち。
女性	50 歳代	◆岡山校区ならではの伝統文化の継承。例えば岡山小太鼓を立ち上げ、継続していける活動があれば良いなと思います。校区一団となれるイベントがあったら良いですネ。
男性	60 歳代	◆子供から老人まで、参加しやすい手づくりのイベントを開催。（昔の行事、お祭り、他の地域のイベントを参考に）校区内のつながりも良い方向になるのではと考えます。
女性	60 歳代	◆もっと芸術的・文化的な事にふれたい。
女性	70 歳以上	◆私たちの町内は封建的な考え方が強いので、昔の行事もそのままで改善できないのが現状です。だから子供達も住みたくないと言っています。今後、空き家が多くなると思います。

９．生活環境（道路整備・上水道整備・下水道整備・公営住宅）

性別	年代	意見・提案
男性	10 歳代	◆道路の拡幅と歩道の整備をしてもらいたい。
男性	30 歳代	◆道路や下水道の整備を行き渡らせてほしい。また既存のアスファルト道路の補修整備よりも、未整備道路（砂利道等）を優先して整備してほしい。
女性	30 歳代	◆室岡雇用促進住宅跡地を公園にしてほしい。
男性	40 歳代	◆前古賀地区に、道路整備及び上下水道の整備が必要な場所がある。
女性	40 歳代	◆新しい道路ができていますが、早く完成させて下さい。
男性	50 歳代	◆通学道路の歩道の整備。
男性	50 歳代	◆生活道路、農業用道路の整備。（機械の大型化により、道路が荒れている。また、小幅な道路では農業機械による事故も心配である。）
男性	60 歳代	◆山の井川の防災対策。室岡北部の環境整備。道路整備（幅の拡張）。
男性	60 歳代	◆道路が出来ることにより、この地域の活性化につながります。道路は広く取るべきです。狭く作れば後々に修正が利かなくなります。広ければドクターヘリも容易になります。一方では住宅も増え、公園や保育園の設置も可能になってきます。生活環境が変わり地域の発展につながると思います。
女性	60 歳代	◆下水道整備。
女性	60 歳代	◆空き家対策。
女性	60 歳代	◆通学道路の整備。（湯気下交差点～ゆめタウン付近の歩道設置要望）
男性	70 歳以上	◆蒲原は、大型店舗の進出が相次ぎ、人・車の流れが増大しているが、「佐賀八女線」の福島寄りは歩車道の改良が早急に必要だ。
男性	70 歳以上	◆大型店等ができ、交通量も増えている中、通学路等の整備が間に合っていない。
男性	70 歳以上	◆今福から鵜池の交差点までが、県道の道幅が狭く、朝、午後の通学時は事故に遭わないかいつも心配である。今福から溝口間の県道の拡幅について八女土木整備事務所と交渉をお願いいたします。
男性	70 歳以上	◆高齢者にとって、えのき台団地は高台にあり環境等は良いのですが、交通面また買い物については不便である。近くに小さな店でもあれば便利ですが？。
女性	70 歳以上	◆龍ケ原高速道路東横の測道 110m位が、拡幅工事の途中用地買収等が進まず、放置されています。奥の北の方に大きな運送会社が数社あり、10ｔ～20ｔのトラックが離合待ちして、狭くて危険な状況です。また、廃業された製材所跡に、20～30 年前の多量の材木等が放置され、腐って害虫等が発生し、火災の危険があり大変困っています。

岡山校区地域振興計画

発　　行　　平成２７年３月

企画・編集　　岡山校区まちづくり協議会
岡山校区地域振興計画策定委員会

※この計画書は八女市地域づくり提案事業として、市の補助金を受け作成しました。